

私たちがリスクから守る仕組み： 分子メカニズムからレギュラトリーサイエンスまで

会期 2026年6月13日 (土) 13:00-16:25

会場 名城大学薬学部 新1号館7階 ライフサイエンスホール
名古屋市天白区八事山150番地

アクセス 名古屋市営地下鉄「八事駅」徒歩7分
<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/yagoto.html>

開催形式 現地およびオンラインのハイブリッド形式

参加費 無料, 事前申込要

**事前
登録**

URLまたはQRコードからお申込みください
(5月30日 (土) 登録締切予定)

<https://forms.office.com/r/2RyzeLkBnk>



後援 公益社団法人 日本薬学会 一般社団法人 日本毒性学会

プログラム

開会の辞 紙谷 浩之 (日本環境変異原ゲノム学会会長/広島大学)
はじめに 世話人 岡本 誉士典 (名城大学薬学部)

「レギュラトリーサイエンスの最前線：食品の安全性を評価する」

頭金 正博 先生 (食品安全委員会・委員)

「産業化学物質管理の転換点を迎えて」

豊岡 達士 先生 (独立行政法人労働者健康安全機構・労働安全衛生総合研究所)

「エラー修正シーケンス法を用いた突然変異の検出とその応用」

杉山 圭一 先生 (国立医薬品食品衛生研究所・ゲノム安全科学部)

(休憩)

「化学物質リスク評価に資する遺伝毒性評価の高度化： DNA損傷応答解析の意義と可能性」

堀端 克良 先生 (国立医薬品食品衛生研究所・ゲノム安全科学部)

「3D培養技術を用いた化学物質の遺伝毒性評価」

石ヶ守 里加子 先生 (星薬科大学・衛生化学研究室)

おわりに 世話人 松田 俊 (京都大学大学院工学研究科)



世話人 岡本 誉士典 (名城大学薬学部)、松田 俊 (京都大学大学院工学研究科)

詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.j-ems.org/symposium/2026symposium.html>